

みんなで利用して、もっと便利な地域公共交通へ

私たちの大切な移動手段を守るため、電車・バス・タクシーなどの地域公共交通に乗って、お出かけしませんか？

固道路交通課 (内線416、417)



地域公共交通とは？

地域公共交通とは、通勤・通学や通院、お買物など、地域住民の日常生活における移動などのために利用される鉄道や路線バス、タクシーなどをいいます。地域公共交通は、安心・安全な移動手段として、皆さんの生活を支えてくれます。

しかし、近年、全国的に公共交通の利用者が減少していることで、これらの減便や廃線が問題となっています。

交通事業者も地域の皆さんの移動手段を確保すべく、その維持に努めています。運賃の値上げを余儀なくされている事業者もいます。

このような問題は、本市の地域公共交通にとっても例外ではありません。

では、地域公共交通をいつまでも安全で安心な移動手段として利用するために、私たちには何ができるのでしょうか、皆さんで考えていきましょう。

本市を運行する地域公共交通

種類	交通事業者	路線・駅など
鉄道	近畿日本鉄道	近鉄長野線 (喜志駅・富田林駅・富田林西口駅・川西駅・滝谷不動駅など)
	南海電気鉄道	南海高野線 (金剛駅・滝谷駅など)
路線バス、コミュニティバス	近鉄バス 金剛自動車 (バス)	近鉄富田林駅・喜志駅を起終点
	南海バス	南海金剛駅を起終点
	レインボーバス	近鉄富田林駅と金剛連絡所を結ぶ
タクシー	大阪第一交通 近鉄タクシー 金剛自動車 (タクシー)	市内全域

富田林市の地域公共交通の課題は？

本市には、左表のとおり鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーなどの地域公共交通が運行しています。

本市の地域公共交通で向き合うべき課題として、「高齢者人口が増加するなか、頼るべき移動手段がなく外出に困ることがある」、「全国で発生している高齢ドライバーによる死亡事故などもあり、このまま自動車を運転し続けられるか不安」、「鉄道の駅勢圏、路線バスのバス停圏でカバーされない交通不便地域が残存する」など、地域公共交通サービスに求められる役割が高まっています。

しかし、これらの役割を果たすためには、交通事業者だけで地域公共交通を支えることが厳しい環境となっており、市民の皆さんと一緒に守っていくことが求められています。

地域公共交通のメリット

環境にやさしい

地域公共交通は一度にたくさんの人を運ぶので、渋滞緩和や環境改善につながります。



健康にやさしい

自宅や目的地からバス停や駅まで歩く習慣が身につくので、健康増進につながります。



交通事故の加害者にならない

地域公共交通を利用すると、自ら運転をしなないので、事故の加害者になりません。



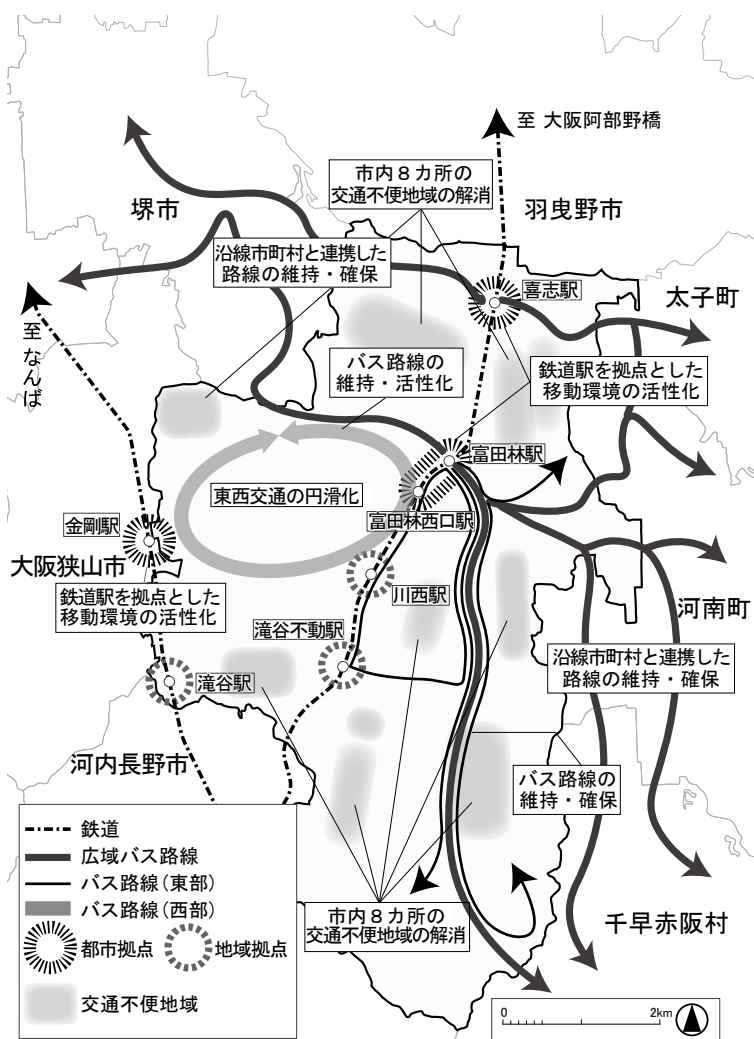
家計にやさしい

近距離での移動や、お出かけの頻度が少ない場合は、自家用車を維持するよりも費用が安くなることがあります。



地域公共交通の将来像 「富田林市地域公共交通計画」を策定

地域公共交通のめざすべき将来像を「すべての市民が安全に安心して快適に移動できるまち」とし、さまざまな交通に関する課題に向き合い、それらを解決していくことを主な目的として、令和5年3月に「富田林市地域公共交通計画」を策定しました。



地域公共交通の将来像

路線バスの乗継利便性の向上

◆近鉄富田林駅と南海金剛駅間の東西交通を円滑に移動できるよう、乗継割引の制度設計に取り組みます。

高齢者・障がい者などへの移動支援

◆高齢者などの免許返納を推進し、併せて運賃補助などの制度を検討します。

計画に記載した主な事業メニュー



地域特性に応じた新たな交通資源の導入検討・導入支援

◆交通不便地域において、地域主体型の地域公共交通を導入できるよう、地域住民と協働して取り組みます。

地域公共交通と施設送迎バスの役割の明確化

◆病院などの施設送迎バスの路線バスへの統合、また、各施設における地域公共交通の活用を推進します。

レインボーバスの見直し

◆路線バスとの重複を解消するため、レインボーバスを見直します。また、見直しにより確保した財源で、他の公共交通施策に活用します。

バスマップの刷新

◆地域公共交通をより親しみやすく、利用しやすいように、商業施設や観光施設などの情報を盛り込んだバスマップとして刷新します。

地域公共交通を守り育てるために

地域公共交通を維持していくためには、市民一人一人が地域公共交通を利用し、支えていくことが大切です。

自家用車は、自宅から目的地まで直接、また、いつでも自由に移動できるため、私たちの生活にとっては欠かせない移動手段です。しかし、運転者は交通ルールを守り、安全運転を心掛けなければなりません。また、目的地によって、渋滞が頻発する道路を利用することもありません。

その点、地域公共交通ではそのような心配はなく、心に余裕を持って外出することができます。

地域公共交通を守るためにも、これから自家用車と地域公共交通を上手に使い分け、みんなが地域公共交通を利用していきませんか。

